

## 健康人間学研究会記録(2)

(1989年3月より1990年2月まで)

本研究会は京都大学医療技術短期大学の学内研究プロジェクトの一つとして、1987年11月に発足、以後月1回の研究例会をもち、活動を続けてきた。研究の全体テーマは、1987年および1988年度は「健康」、1989年度は「ケア」であった。

ここには、前号に続き、第13回以後の例会の記録を掲載する。

第13回研究例会 1989年3月24日(金)

テーマ: 天台止観の健康論

テキスト: 『天台小止観』第九章治病患(関口真大訳注, 岩波文庫)

発題者: 石井誠士(一般教育, 哲学)

全体テーマ: ケア

第14回研究例会 1989年4月24日(月)

テーマ1: ケア—言葉と事柄として

発題者: 石井誠士(一般教育, 哲学)

テーマ2: ミルトン・メイヤーロフのケア論

発題者: 藤原治美(看護学科, 成人看護学)

参考テキスト: ミルトン・メイヤーロフ著 田村真・向野宣之訳『ケアの本質』(ゆるみ出版, 1987. 原本: Mayeroff, Milton: "On Caring")

第15回研究例会 1989年5月26日(金)

テーマ: 人間関係あるいは社会関係について —教育の場合と医療の場合—

発題者: 岡田敬司(一般教育, 教育学)

第16回研究例会 1989年6月29日(木)

テーマ: 日本のケアの歴史

発題者: 丸山咲野(看護学科, 成人看護学)

第17回研究例会 1989年7月17日(月)

テーマ: 支え合うことの意味

発題者: 松本雅彦(作業療法学科, 精神医学)

第18回研究例会 1989年9月29日(金)

テーマ: 医療技術の弁明

—ヨーロッパの技術概念

(technē, ars, technology 等)

を手掛かりに—

発題者: 石井誠士(一般教育, 哲学)

第19回研究例会 1989年10月27日(金)

テーマ: 精神医学の流れ

発題者: 松本雅彦(作業療法学科, 精神医学)

第20回研究例会 1989年11月24日(金)

テーマ: らい医療の流れ

—病む人々とケア—

発題者: 尾坂良子(看護学科, 成人看護学)

第21回研究例会 1990年1月30日(火)

テーマ: 出産とケア

発題者: 三浦昌子(看護学科, 母性看護学)

第22回研究例会 1990年2月23日(金)

テーマ: 「セルフケア」について

—主として「運動」に

目を向けながら—

発題者: 竹之熊淑子(看護学科, 成人看護学)